HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	ハリギリの山地根ざしについて
Author(s)	夏目, 俊二; 塚本, 光弘
Citation	北海道大学演習林試験年報, 5, 10-11
Issue Date	1988-02
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/72791
Type	departmental bulletin paper
File Information	1986_1-5.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

Ⅰ—5　ハリギリの山地根ざしについて

中川地方演習林　夏目俊二
〃　塚本光弘

はじめに

ハリギリは毎年7月頃に開花、10月には4～5 mmに成熟した黒色の漿果を結ぶ。また種子は硬実であるため、その散布は主に鳥類に依存し、かつこれらに被食されることによってはじめて硬実性が弱められ発芽に至る場合が多い。したがって人工播種しても発芽率は1％程度[1]と低く、地掻きによる一斉更新は殆ど期待できない。

こうしたことから近年、各地で山苗の利活用が試みられている[2]が、中川演習林では昭和61年からハリギリを山地に直接根ざしする試験を行っている。今回は、根ざし後2年間の経過に触れ中間報告とする。

1．ハリギリの根ざし育苗法

ハリギリには、きわめて根萌芽性に富むといった属性がある。これは貯蔵根（いも根）の発達し易い樹種の多くに認められる性質であるが、この特長を利用した栄養増殖法が根ざし育苗法である。方法は簡単で、適当な長さに切り取った根系を「サシホ」として地中に埋め戻すだけで新苗条の発生・伸長と根の分岐を促すことができ、他に面倒な処理を必要としない。一般に安全性も高く、天然木を用いた苗畑での実験によれば、70％ちかくの得苗率が得られた[3]こともある。

この方法を山地に直接応用した例は見当らないが、これが事業的に可能となれば、育林作業の省力化はもとより、広葉樹資源の拡大にも大いに資することになろう。

2．苗条の発生

1986（昭和61）年の5月下旬、ドイツトウヒ人工林（14林班、62年生）の下生えとして生育中のハリギリ天然生稚樹（樹高0.7～1.2m）から1株あたり5～6本、計138本のサシホを採取した。これらは、その日のうちに手鍬で耕耘した床（レーキ地拵え跡地、223林班）に運び、深さ約50 cmの地中にほぼ真横にして埋め込んだ。

図—1には、根ざし後2カ月を経過したサシホの様子を示した。苗条の発生は、サシホの上端すなわちもとの根元にいちばん近い部位に認められた。一方、根の分岐は根端の最も細い部位を中心に進んでいるようであった。そのほかにも、こののち根系に発達すると思われる数個の小突起（不定芽）が観察された。

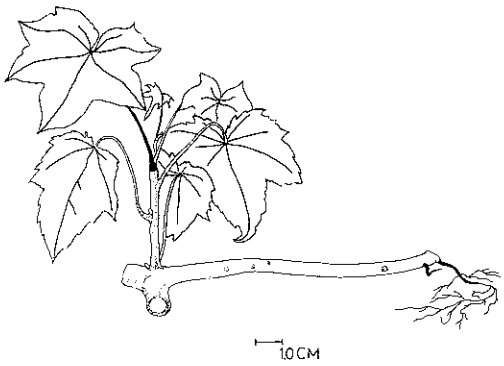
表　サシホの苗条発生状況

苗条を発生したサシホ数		腐朽枯死又は苗条未発生のサシホ数	計
1986	1987		
65＊	12	61	138
(47.1)	(8.7)	(44.2)	(100)

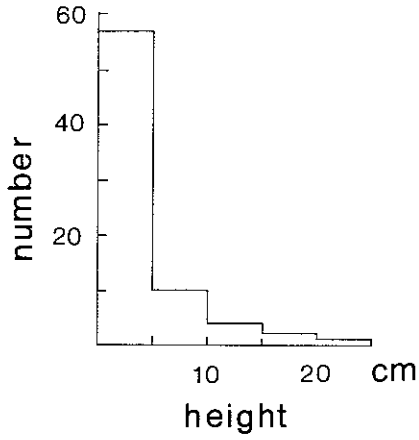
＊うち3本は1987年秋までに枯死した。

表には、1986～87年のふた夏における苗条の発生状況を示した。苗条は根ざし当年に集中して発生し、9月中旬までに65本（47.1％）のサシホで確認された。翌年にも期待されたが結果

は 12 本 (8.7 %) とやや低率にとどまった。また、苗条を発生していなかった残り 61 本のサシホを堀り取って調べたところ、57 本は腐朽枯死、生存は僅か 4 本となっていた。したがって、苗条の発生は根ざし後 2 年間でほぼ終了し、発生率は 56 %となった訳であるが、山地試験の結果としては比較的順調といってよいだろう。



図— 1　苗条の発生と根系の分岐



図— 2　苗条の樹高階別本数
(1987 年 10 月調査)

3. 初 期 生 長

図— 2 は、1987 (昭和 62) 年 10 月における苗条の樹高分布である。これによれば根ざし後 2 年で樹高 10 cm 以上に達したものは僅か 7 本に過ぎず、約 90 %の 67 本が樹高 10 cm 未満となっている。平均樹高は 3.2 cm (Max 27.0 cm、Min. 0.5 cm) であった。この樹高生長は、根ざし当年に平均樹高 10.5 cm に達した苗畑での育成結果[1]などからみればかなり緩慢と言える。しかし、これらが生育条件のより厳しい山地で生長していることを踏まえるならば、以上の判断は早計であろう。この点については、天然生稚幼樹 (林道わき、掻起こし地など) の樹幹析解を行うなどして比較検討をすすめている。

参 考 文 献

1) 原口聡志・斉藤新一郎：ハリギリの根ざし育苗について、北方林業, No.304, 1974
2) 久野重和：ハリギリ山引苗の利用、北海道大学演習林試験年報 (1985), 1986.
3) 斉藤新一郎：根ざし育苗法について、光珠内季報, No.18, 1973